



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月14日

上場会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9610 URL <http://www.wlw.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 森 捷三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバルコーポレート本部本部長 (氏名) 渡壁 淳司 TEL 03-6381-0234  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	723	2.2	△79	—	△86	—	△80	—
29年3月期第1四半期	707	△13.0	5	—	△21	—	△48	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △78百万円（-%） 29年3月期第1四半期 △163百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△15.65	—
29年3月期第1四半期	△9.40	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	3,336	2,481	74.4	481.55
29年3月期	3,501	2,560	73.1	496.73

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 2,481百万円 29年3月期 2,560百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	4.1	200	△35.0	170	△41.0	100	△32.2	19.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	5,154,580株	29年3月期	5,154,580株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	541株	29年3月期	509株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	5,154,041株	29年3月期1Q	5,154,071株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要素により実際の業績の記述の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

①業績の概要は、次のとおりであります。

堅調に推移する世界経済を反映して、引き続き人材育成に絡む大きなプロジェクトが動いています。米国で大口顧客がライセンス契約の更新を見送ったことや、アジア・太平洋地域で、顧客企業が研修計画を延期した影響を受けましたが、グループ全体では、欧州などが好調だったことに加え、前年同期に比べ円安となったため増収となりました。今後は、販売管理費の抑制などで収益率の改善に努めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7億2千3百万円（前年同期比2.2%増）、営業損失7千9百万円（前年同期は5百万円の営業利益）、経常損失8千6百万円（前年同期は2千1百万円の経常損失）となっております。また親会社株主に帰属する四半期純損失は8千万円（前年同期は4千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

②セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (イ) 国内

イノベーション人材の育成など、時代の変化を反映する研修の引き合いが増えています。サービス業などで日本だけでなくアジアまで一貫して人材育成を考えるプロジェクトも動き出しています。ただ第1四半期連結累計期間の売上高は、昨年をやや下回り、営業損失を計上しました。

この結果、売上高2億6千7百万円（前年同期比2.5%減）、営業損失7千1百万円（前年同期は5千1百万円の営業損失）となりました。

#### (ロ) 北米

ライセンス契約が解消された案件があることも影響して、現地通貨建てでの売上高は減少しましたが、円安の進行で増収となっています。販売管理費の増加で営業損失を計上しており、今後、コスト削減策に努めてまいります。

この結果、売上高4億4千1百万円（前年同期比7.4%増）、営業損失1千6百万円（前年同期は1千4百万円の営業利益）となりました。

#### (ハ) 欧州

ウィルソン・ラーニング ヨーロッパ（英国）の売上高は既存顧客の契約継続などで堅調に推移しています。新規顧客開拓策も功を奏しているほか、新規に採用した営業担当も実績を残し始めています。ウィルソン・ラーニング フランスは長く契約いただいている顧客に新規の顧客が加わり、売上高は予算を上回りました。

この結果、売上高1億2千2百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益1千6百万円（前年同期比47.8%減）となりました。

#### (ニ) 中国

第1四半期連結累計期間は減収になり、営業損失を計上しました。営業の質的な向上を図っており、粗利率の向上を目指しています。またグローバルな受注からローカルの受注にシフトしています。昨年度は抑制してきたマーケティングのためのイベントも、積極的に行っていく方針です。

この結果、売上高2千1百万円（前年同期比35.1%減）、営業損失4百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

#### (ホ) アジア・パシフィック

ウィルソン・ラーニング オーストラリアではマネジメント体制の変更で、ウィルソン・ラーニング インドでは顧客企業の研修計画の延期で、売上高が減少しました。ウィルソン・ラーニング アジアでは、大口顧客の研修規模の縮小を、新規顧客で補うことができず、減収になりました。

この結果、売上高3千1百万円（前年同期比15.4%減）、営業損失4百万円（前年同期は8百万円の営業利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、25億6千6百万円（前連結会計年度末は27億6千4百万円）となり、1億9千7百万円減少しました。これは、主に現金及び預金の増加1億8千1百万円がありましたが、受取手形及び売掛金の減少4億4百万円があったことによるものです。

#### ②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、7億6千9百万円（前連結会計年度末は7億3千7百万円）となり、3千2百万円増加しました。これは、主にリース資産の増加2千1百万円があったことによるものです。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、6億4千2百万円（前連結会計年度末は7億3千1百万円）となり、8千8百万円減少しました。これは、主に賞与引当金の減少4千2百万円、役員賞与引当金の減少1千4百万円、未払費用の減少1千9百万円があったことによるものです。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2億1千1百万円（前連結会計年度末は2億9百万円）となり、1百万円増加しました。これは、主に長期借入金の減少9百万円、退職給付に係る負債の減少5百万円がありましたが、リース債務の増加1千8百万円があったことによるものです。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、24億8千1百万円（前連結会計年度末は25億6千万円）となり、7千8百万円減少しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少8千万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,744,814	1,926,402
受取手形及び売掛金	887,484	482,489
有価証券	2,690	1,067
たな卸資産	35,124	60,692
繰延税金資産	25,523	25,480
その他	74,765	76,963
貸倒引当金	△6,058	△6,271
流動資産合計	2,764,343	2,566,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	29,611	28,602
工具、器具及び備品 (純額)	17,746	25,119
土地	34,205	34,205
リース資産 (純額)	—	21,760
有形固定資産合計	81,564	109,688
無形固定資産		
ソフトウェア	2,968	4,404
教材用コンテンツ	17,263	15,482
その他	567	3,274
無形固定資産合計	20,799	23,161
投資その他の資産		
投資有価証券	172,968	165,168
敷金及び保証金	96,285	96,430
長期貸付金	20,582	20,110
退職給付に係る資産	74,989	76,140
繰延税金資産	269,932	279,535
その他	25,856	24,823
貸倒引当金	△25,724	△25,724
投資その他の資産合計	634,889	636,483
固定資産合計	737,253	769,333
資産合計	3,501,597	3,336,157

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	140,328	134,803
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	38,760	38,760
未払金	11,809	16,750
未払消費税等	25,328	12,657
リース債務	1,678	6,034
未払法人税等	6,409	6,732
賞与引当金	62,241	19,765
役員賞与引当金	18,989	4,118
資産除去債務	2,122	2,122
繰延税金負債	94	60
未払費用	160,796	141,045
前受金	152,862	141,169
その他	10,425	18,858
流動負債合計	731,844	642,879
固定負債		
長期借入金	109,590	99,900
リース債務	1,153	19,443
繰延税金負債	33,371	32,310
退職給付に係る負債	6,511	1,403
資産除去債務	47,136	47,283
その他	11,793	11,004
固定負債合計	209,556	211,344
負債合計	941,401	854,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	722,698	722,698
資本剰余金	557,452	557,452
利益剰余金	1,010,088	929,433
自己株式	△205	△216
株主資本合計	2,290,034	2,209,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,416	6,340
為替換算調整勘定	263,745	266,223
その他の包括利益累計額合計	270,161	272,564
純資産合計	2,560,196	2,481,933
負債純資産合計	3,501,597	3,336,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	707,517	723,116
売上原価	201,082	215,620
売上総利益	506,435	507,495
販売費及び一般管理費	501,016	586,798
営業利益又は営業損失(△)	5,419	△79,302
営業外収益		
受取利息	634	718
貸倒引当金戻入額	10,000	—
賃貸料収入	311	2,332
投資事業組合運用益	—	2,586
雑収入	448	2,025
営業外収益合計	11,393	7,662
営業外費用		
支払利息	806	1,237
為替差損	35,949	10,066
持分法による投資損失	—	125
賃貸収入原価	311	2,332
雑損失	819	1,516
営業外費用合計	37,885	15,278
経常損失(△)	△21,073	△86,917
特別利益		
受取和解金	3,571	—
特別利益合計	3,571	—
特別損失		
特別退職金	7,617	—
減損損失	2,430	—
リース解約損	14,246	—
特別損失合計	24,293	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,795	△86,917
法人税、住民税及び事業税	3,937	4,846
法人税等還付税額	△155	—
法人税等調整額	2,867	△11,109
法人税等合計	6,649	△6,262
四半期純損失(△)	△48,444	△80,655
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△48,444	△80,655



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△48,444	△80,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△75
為替換算調整勘定	△114,778	2,478
その他の包括利益合計	△114,778	2,402
四半期包括利益	△163,222	△78,252
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163,222	△78,252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。